

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立第十中学校 校長

田村 和夫

1 学校教育目標

自他の生命を尊ぶ人間尊重の精神を基調とし、変化の激しい社会の中で生徒一人一人が主体的・自主的に学べるような資質や能力を定着させる。また、人間関係が希薄になりつつある社会の中で、助け合い、思いやる共存共生の社会を構築する心豊かな人間を育成する。そのために教職員と生徒の教育目標として、次の3点を掲げる。

- ・学び合う人 ・思いやる人 ・鍛え合う人

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ① 学校図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- ② 学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ③ 学校図書館を活用し、自分を表現できる生徒を育てる。
- ④ 読書に親しみ、読書習慣と読書力をつける。

3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 14717冊（蔵書基準冊数 12160冊）／蔵書率 116.5%（元年度末 111.1%） ② 新規購入図書 582冊／廃棄図書 297冊／増減冊数 285冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	3%	3%	12%	12%	12%	3%	3%	11%	6%	34%
*国基準	6%	3%	17%	10%	15%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：毎日放課後17時30分まで ② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 12.1冊（前々年度末：8.86冊） ③ 学校図書館利用率 1062%（前々年度末894%）									

（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 14634冊（蔵書基準冊数 12160冊）／蔵書率 120% ② 新規購入図書 624冊／廃棄図書 166冊／増減冊数 458冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	3%	3%	11%	12%	12%	5%	3%	10%	6%	35%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：毎日放課後17時30分まで（前年度からの変更あり・なし） ② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 11.9冊（前年度末：12.1冊） ③ 学校図書館利用率 1036%（前年度末：1062%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 小学校からの読書習慣を継続しながら、読書に親しむ意欲を育成する。 ② 学校図書を活用した探究活動を通して、問題発見・解決能力の育成を図る。 ③ 図書の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育てる。
------	--

今年度の成果目標

達成基準

- ① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。
- ② 図書館の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。
- ③ 学校図書館のきまりや仕組みを知る。

- ① 第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増
- ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率75%以上
- ③ 学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率100%

目標達成状況

- ① 第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数について、前年度比を上回ることができなかった。
- ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率75%以上を果たすことができた。
- ③ 学校図書館オリエンテーションの学年生徒の受講率100%は概ね達成した。

第2学年	① いろいろな読み物を読もうとする意欲を育てる。 ② 課題によって学校図書やＩＣＴ機器を使い分けて探究活動を進め、情報活用能力の育成を図る。 ③ 学校図書をよりよくするための思考を通じて、規範意識の育成を図る。
今年度の成果目標	達成基準
① 授業や放課後の時間等に、主体的に学校図書館を活用して、読書を行うことができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、ＩＣＴ機器を使い分け、探究活動を進めることができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、必要に応じて学校図書館を活用することができる。	① 第2学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率75%以上 ③ 読書や探究活動の授業を年10回以上実施するクラスの割合100%
目標達成状況	
① 第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比を上回ることができなかった。 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率の目標は達成することはできなかったが、各教科の授業を通して本や新聞等、ＩＣＴ機器を使い分け、探究活動を進め、表現することができた。 ③ 読書や探究活動の授業を年10回以上実施するクラスの割合100%を達成することができた。	
第3学年	① 読書をとらえて考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ② 学校図書やＩＣＴ機器を活用した探究活動を通して、言語能力の育成を図る。 ③ 学校図書をよりよくするための活動を通して、主権者としての素養を育成する。
今年度の成果目標	達成基準
① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書を行うことができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、ＩＣＴ機器を使い分け、探究活動を進め、表現することができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、よりよい仕組みについて考えたり、話し合ったりすることができる。	① 第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率75%以上 ③ 読書や探究活動の授業を年8回程度実施するクラスの割合100%
目標達成状況	
① 第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増は実現することができなかった。 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率の目標は達成することはできなかったが、各教科の授業を通して本や新聞等、ＩＣＴ機器を使い分け、探究活動を進め、表現することができた。 ③ 読書や探究活動の授業を年8回程度実施するクラスの割合100%を達成することができた。	
5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果	
取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を2月までに完了させる。 ② 蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。	① 計画を実施することができ、円滑に運営することにつながった。 ② 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成し、生徒が本を借りやすい環境を整備することができた。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ② 学校図書館だより、図書の展示、掲示物の工夫・充実を図り、生徒の読書活動の向上に努めることができた。	① 積極的な支援員との情報交換を行い、生徒の調べ学習の充実につながった。 ② 学校図書館だより、図書の展示、掲示物の工夫・充実を図り、生徒の読書活動の興味・関心を引き出すことができた。
【その他】 ① 年度末の貸し出し返却率が100%となるように取り組むことができた。 ② 「調べ学習」にはタブレットの利用とあわせて、蔵書の充実を図ることができた。	① 年度末の貸し出し返却率が100%となるように取り組むことができた。 ② 「調べ学習」にはタブレットの利用とあわせて、蔵書の充実を図ることができた。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

図書担当教諭と学校図書館支援員の協力体制の下、読書活動の推進に力を入れることができた。また、昨年度実施しできなかった学校図書館オリエンテーションを実施することができた。一方、学校図書館を全く利用しない生徒も一定数いるため、読書に興味のない生徒たちに対して読書の魅力を伝えていく効果的な方法を学校図書館支援員と協力して検討していく必要がある。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

特記事項なし